

2011年度受託研究概要報告

兵庫県予防医学協会「協会旗」のデザイン制作

研究メンバー

赤崎正一 ビジュアルデザイン学科教授
高台泳 ビジュアルデザイン学科助教

委託者

財団法人 兵庫県予防医学協会

研究概要

本研究は財団法人兵庫県予防医学協会公益事業の推進や各種イベント等の遂行場面で、協会の象徴として「協会旗」を掲示する目的に基づき、その旗をデザイン制作研究するものである。研究プロセスは次のようである。

①第一次打ち合わせ：2012年3月に予防医学協会との初回の打ち合わせを通じ研究内容及び日程の確認を行った。当初、予防医学協会では既に「花」をモチーフにした協会章があり、バッジなどで使われていた。しかしこれから制作する協会旗では従来の協会章のイメージに拘らず、新たなマークを展開することでデザインコンセプトが定まった。

②第二次打ち合わせ：5月の第二次打ち合わせでは、様々な協会旗の実例をプレゼンテーションし、協会旗のデザインコンセプトの提案を行った。その結果、「協会名称の文字／字体／色の配置」など、より具体的にデザインコンセプトが示された。

③第三次打ち合わせ：前回の打ち合わせの内容に基づいて、新たな協会旗のデザイン案を数点制作した。従来の協会章を生かしつつ、色彩やレイアウトのみ見直した案から、「花」のモチーフだけを生かして、全く新しい形のマークを用いた案まで、数点のデザイン案を6月の第三次打ち合わせで提案した。その結果、「四楕円四放射状」のマークを用いた案が候補案として採用された。それを持って色彩や形を調整し、最終デザイン案を提示した結果、7月中旬の予防医学協会の常務理事会において、協会旗として決定された。採用された案は四つの楕円を花びらに見立てたものであるが、いきいきとしたイメージを与えるために、遠近感と緊張感を生かして放射状に配置したものである。なお、使用色彩全4色で、その意味は次の通りである。

「アオ」：健診事業 「ピンク」：危機管理
「黄」：啓発 「緑」：検査



図1 財団法人兵庫県予防医学協会の協会旗デザイン案（採用案）

研究成果

財団法人兵庫県予防医学協会は昭和46年に設立されて以来、現在にいたるまで良質の健康診断、健康教育、保健指導、作業環境測定等を総合的に実施する労働衛生専門機関として、地域社会を支えてきた。しかし、協会を象徴し、存在をアピールする協会章はあるものの、一般市民に馴染みが薄く、認知度も高いとは言えなかった。

そこで、新たに提案した協会旗では、従来の協会紋章が持っていた精神を継承しつつ、形を一新して、より親しみやすく時代感覚に合わせたモダンなイメージに仕上げたマークを取り入れた。配色についても、協会の趣旨と理念を反映するよう、十分考慮した。